

広報たぐみ診療所

朝日診療所
所長 若山 隆



「インフルエンザワクチンの効果」

稲刈りの時期となり、すっかり肌寒い季節になりました。みなさんお体を冷やして体調をくずさないように気を付けてくださいね！

先日、何気なくニュースを見ていると、気になるタイトルの記事がありました。8月30日付の毎日新聞の記事で「インフルワクチン：乳児、中学生に予防効果なし」というものだったのです。びっくりして詳しく読み進めてみると、研究方法に少し問題があるようでした。記事中にはこう書かれていました。

「2013年11月～14年3月、慶応大の22関連医療機関を38度以上の発熱があつて受診した6カ月～15歳のデータを分析した。インフルエンザへの感染の有無とワクチン接種の有無を調べ、「A型」「B型」などインフルエンザの型ごとに発症防止効果を計算した。」「その結果、乳児と中学生に予防効果がなかった。」

発熱で受診した小児は4,722人になったと

のことで、研究した方は大変だったでしょうねえ。頭が下がります。

しかし、この研究方法は不十分です。ワクチンの効果を正しく検証したいなら、『ワクチンを接種した子供と接種していない子供がどれだけインフルエンザを発症しなかったのか？も調べ、その効果を検証』すべきです。発熱している子供だけ調べても、正しい予防効果が確認できたとはいえませんよね？

世界ではそうした詳しい研究結果が既にだされておられ、それらを検証したうえでアメリカ疾病予防管理センター(CDC)や厚生労働省も生後6か月以降のすべての方にインフルエンザワクチンが有効であると述べています。自分だけでなく、周りにいる家族、さらには只見地域全体への感染も予防するため、ワクチンは積極的にうけることを診療所としてもお勧めさせていただきます!!

地域おこし協力隊として vol.13 只見町教育振興協力隊 末谷 広大

『只見高校・只見町山村教育留学制度さらに人気上昇↑↑』

こんにちは、只見町教育振興協力隊の末谷です。9月26日(土)、27日(日)に、26日の只見高校体験入学に合わせ奥会津学習センター(寮)説明会を行いました。今年度は例年になく参加希望者が増加したため、毎年視聴覚室で行っていた高校の説明会は、場所を体育館に移し巨大スクリーンを使用して実施しました。また、土曜日だけ行っていた奥会津学習センター(寮)の説明会も土曜日と日曜日とに分けて行いました。

只見高校の体験入学には120名以上の方

が参加され、奥会津学習センター(寮)の説明会にも30組以上の方に参加していただきました。たくさんの方々の関係各所の方々のご尽力は勿論肌で感じておりますが、年度初めよりHPの更新や県内外中学校への訪問、柏市・新宿区での説明会と様々な広報活動を担当してきことであつてか、非常に嬉しく感じております。

今後は広報だけではなく、更に現在の只見町山村教育留學生の資質向上に力を入れていきたいと思つております。